

令和 8 管理年度（令和 8 年 1 月～12 月）かたくちいわし太平洋系群
漁獲可能量（T A C）の設定及び配分について（案）

令和 7 年 10 月
水 産 庁

1 T A C（案）

（1）設定の考え方

- ① 親魚量が令和 17 年（2035 年）に、少なくとも 50% の確率で、目標管理基準値を上回るよう、親魚量の値に応じ、次の方法で漁獲圧力を調整する（漁獲シナリオ）。
 - ア 親魚量が限界管理基準値以上にある場合には、M S Y を達成する水準に調整係数（ $\beta = 0.9$ ）を乗じた漁獲圧力とする。
 - イ 親魚量が限界管理基準値を下回るが、禁漁水準値以上ある場合には、親魚量の値に応じて上記アの漁獲圧力を更に削減した漁獲圧力とする。
 - ウ 親魚量が禁漁水準値を下回る場合には、漁獲圧力をゼロとする（実際の管理においては、その資源を目的とした採捕が禁止される）。
- ② 資源評価において示される当該管理年度の資源量の予測値と、漁獲シナリオにより得られる漁獲圧力を乗じた値を A B C とし、T A C は当該値を超えない量とする。

（2）令和 8 管理年度（令和 8 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（ステップ 1）の T A C（案）

特定水産資源	T A C
かたくちいわし太平洋系群	107,000 トン

※ 資源管理基本方針に基づき、ステップ 1・2 では、漁業法第 33 条に基づく採捕の停止等の命令は行わないこととしている。

（参考 1）資源管理の目標

- （1）目標管理基準値：112 千トン（M S Y を達成するために必要な親魚量）
- （2）限界管理基準値：28 千トン（M S Y の 60 パーセントを達成するために必要な親魚量）
- （3）禁漁水準値：3 千トン（M S Y の 10 パーセントが得られる親魚量）

(参考2) T A C 及び漁獲実績の推移

単位：万トン

	R7(2025) 管理年度	R6(2024) 年	R5(2023) 年	R4(2022) 年	R3(2021) 年
T A C	9.2	—	—	—	—
漁獲実績	—	—	4.2	5.8	4.6

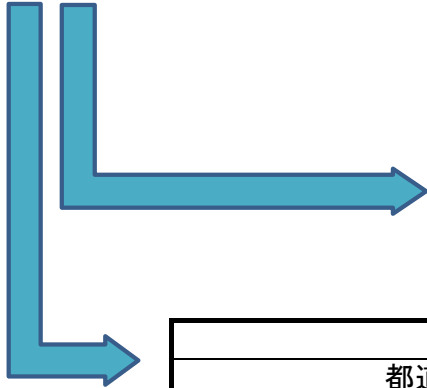
(出典：農林水産統計より水産庁作成)

2 配分(案)

ステップ1のため、別紙のとおり、具体的な数量は設定せず、T A Cの内数として設定する(ただし、都道府県及び大臣管理区分における管理を行う際の参考となる数量は提示する)。

令和8管理年度かたくちいわし太平洋系群TACの設定及び配分について(案)

	TAC(トン)
かたくちいわし太平洋系群	107,000



大臣管理分	
大臣管理区分	数量(トン)
大中型まき網漁業	107,000トンの内数

知事管理分	
都道府県名	数量(トン)
北海道、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、愛媛県、高知県、大分県及び宮崎県	107,000トンの内数